

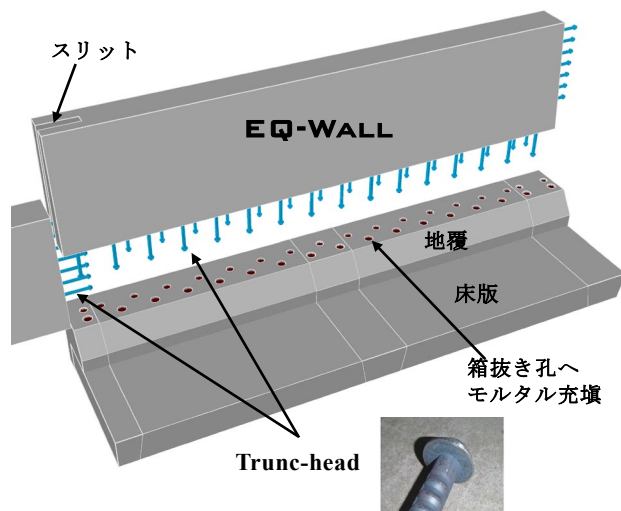
プレキャスト壁高欄「EQ-WALL®」

Technical Sheet

SUMITOMO MITSUI
CONSTRUCTION CO.,LTD.

プレキャスト壁高欄「EQ-WALL」とは

プレキャスト壁高欄「EQ-Wall」※1)は、壁高欄から突出させた機械式鉄筋定着工法の一つであるTrunc-head®※2)を、地覆部の箱抜き孔および壁高欄接合断面のスリットに収めて無収縮モルタルで定着させる構造です。壁高欄設置後、接合目地部(幅30mm程度)に型枠を組み立て、無収縮モルタルを注入するだけで構造が成立します。本構造は、現場での追加部材を一切配置せずに作業が完了するため、現場作業の省力化や施工の急速化が図れます。



プレキャスト壁高欄「EQ-WALL」の概要

特徴

- プレキャスト壁高欄「EQ-Wall」は、車両用防護柵の種別 SS 以下の規格に適合した製品です。
- 高速道路会社の試験法 (NEXCO 試験法 441) に準拠した衝突試験を実施し、壁高欄の衝突安全性が確認されています。
- 橋梁の支点上ならびに壁高欄端部のプレキャスト部材にも適用できます。
- 場所打ち壁高欄と比較すると、約 2 倍の速度で壁高欄の設置ができます。



衝突試験状況 (NEXCO 試験法 441)

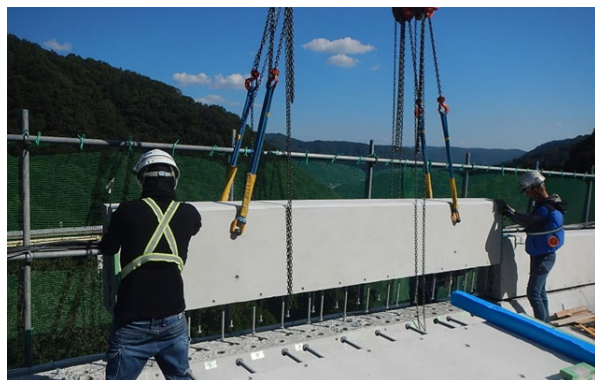
適用現場

- 工事名: 東名高速道路(特定更新等)
裾野 IC~沼津 IC 間床版取替工事
発注者: 中日本高速道路株式会社

他 工事物件 7 件, 採用予定 2 件
(2023 年 1 月時点)

※1) 特許第 6537369 号「プレキャスト橋梁部材」
商標登録第 6125751 号「eQ-Wall」

※2) 鉄筋端部を鍛造により円錐台形状に加工した機械式鉄筋



実橋でのプレキャスト壁高欄設置作業